

「第22回日本うつ病学会 総会」一般演題 採択結果一覧

カテゴリー	登録番号	演題番号	演題名	氏名(敬称略)
薬物療法	10001	P- 01	血中リチウム濃度が正常にも関わらず中毒症状が生じた1症例	植松 拓也
	10005	P- 02	精神運動性焦燥や希死念慮が前景に立つうつ病に抗うつ薬に先行して気分安定薬を投与し回復した3症例	田上 真次
	10014	P- 03	高齢うつ病患者に対しプレクスピプラゾールによる増強療法を行った6症例	中村 倫之
	10024	P- 04	クエチアピン徐放錠使用成績調査における全患者での処方量と安全性のタイムライン	新谷 考央
	10052	P- 05	医療情報を統合したうつ病の治療最適化ツールに関する満足度調査：前向きコホート研究	菊地 俊暁
	10053	P- 06	ケタミンは治療抵抗性うつ病患者の脳内AMPA受容体分布を変化させる	中島 和希
	10062	P- 07	Escitalopramの離脱症状により極めて緩徐な減薬を要したうつ病患者の一例	村瀬 雄士
薬物療法以外の治療法	10002	P- 08	双極性障害患者の修正型電気けいれん療法のセッション数と再発リスクの関連性の研究-当院データによる後ろ向きコホート研究-	野田 敬子
	10011	P- 09	電気けいれん療法によって劇的な改善を得たペースメーカー植込み後の治療抵抗性うつ病の1例	児高 成海
	10017	P- 10	鍼灸院に来院する患者のメンタルヘルスの実態調査：多施設横断研究	松浦 悠人
	10019	P- 11	国内における死別関連うつ病に対する対人関係療法のパイロット研究	西原 諒
	10026	P- 12	難治性うつ病へのマルチモーダルアプローチの工夫-rTMSと心理療法を併用した自験例3症例の検討	伏屋 研二
	10037	P- 13	rTMS療法の中期中における抑うつ症状の自己評価と客観評価の乖離と臨床的転帰の関係	江藤 光弘
	10050	P- 14	うつ病に対するバイオレットライト光バイオモジュレーション療法：二重盲検無作為クロスオーバー試験	野田 賀大
	10073	P- 15	電気けいれん療法により混合状態の改善を認めた双極症の一例	野村 泰平
	10079	P- 16	標準的な治療で効果不十分な大うつ病性障害患者における反すう症状を対象としたVRデジタル療法の有効性及び安全性の評価	松村 雅代
	10033	P- 17	標準治療で難渋したうつ病患者に鍼灸と傾聴が奏効した1症例	米倉 まな
	10047	P- 18	双極症患者の主観的認知機能障害と日常生活機能との関連について	岡崎 智行
病態	10018	P- 19	自殺防止から考えるうつ病の遷延化要因と社会の変化	徳永 雄一郎
	10022	P- 20	不安抑うつ発作が観察された境界性パーソナリティ障害	貝谷 久宣
	10040	P- 21	抑うつ傾向におけるポジティブ経験思考の有効性-脳波を用いた生理心理学的検討-	越後 くるみ
	10054	P- 22	AMPA受容体標識PET薬剤[11C]K-2を用いた精神疾患の横断的研究	波多野 真依
	10059	P- 23	うつ病患者の脳内神経ネットワーク解析	川崎 康弘
	10000	P- 24	「Pseudo ADHD」者における抑うつ状態の検討-「Pseudo ADHD」群、成人期ADHD患者群、健常群の3群間における比較-	澤村 勇希
	10061	P- 25	うつ病の社会的リスク仮説への神経科学および人類学的再考：なぜ、うつ病はこんなに苦しいのか？	杉山 崇
症状・診断・評価	10008	P- 26	抑うつ状態経験者におけるストレス対処行動と医療機関受診との関連：全国の一般住民を対象としたweb調査研究	小嶋 悠太
	10009	P- 27	うつ病における認知機能評価尺度に関する国内調査：認知機能評価尺度の使用者からみた尺度の特徴	住吉 太幹
	10010	P- 28	我が国のうつ病診療における満足度や理解度などに関する当事者-医師間の認識調査：MBCとSDMに焦点を当てて	渡邊 衡一郎
	10012	P- 29	うつ病性障害の診断バイオマーカーとしての血漿リン酸エタノールアミン濃度	川村 則行
	10023	P- 30	双極性障害患者におけるウェアラブルデバイスを用いたデジタルバイオマーカーの探索	深見 俊和
	10032	P- 31	健常者およびうつ病患者における血清BDNF濃度と認知機能との関連性	櫻井 哲哉
	10036	P- 32	精神疾患や中間表現型ポリジェニックスコアを用いた機械学習によるパニック症の判別	大井 一高

「第22回日本うつ病学会 総会」一般演題 採択結果一覧

カテゴリー	登録番号	演題番号	演題名	氏名(敬称略)
症状・診断・評価	10039	P- 33	不安・抑うつ発作を呈するうつ病・双極症患者の臨床的特徴についての検討	林 瑤子
	10045	P- 34	AMPA受容体分布に基づく双極性障害と大うつ病性障害の診断アルゴリズムの可用性	津川 幸子
	10060	P- 35	うつ病の入院治療における症状の変化と愛着スタイルの変容について	松下 満彦
	10065	P- 36	うつ病治療における残遺症状プロフィールが2年間の治療経過に与える影響の探索的検討	越川 陽介
	10074	P- 37	単クローン性免疫グロブリン血症に対する化学療法中に希死念慮を伴ううつ状態を呈した物質誘発性精神障害の一例	岩崎 悠一
	10003	P- 38	治療開始時のうつ症状の主観的評価と客観的評価の不一致と治療結果の関連	田島 美幸
	10007	P- 39	治療に反応しないうつ病患者の臨床的特徴～客観的・主観的非寛解を示す縦断データの解析～	新井 芳望
	10016	P- 40	うつ症状と塩味味覚閾値との関連：健常者と疾患群との比較検討	石山 すみれ
ライフサイクルとうつ病	10031	P- 41	COVID-19の流行に伴う抑うつ症状の経時的変化	廣川(上田)ひとみ
	10034	P- 42	10歳から14歳の児童生徒を対象としたうつ状態の増悪をもたらす中核症状とその安定性	武田 知也
	10051	P- 43	復職に向け自身の状態を客観視する手段として作業療法が有益であったうつ病症例	山本 敦子
自殺予防	10004	P- 44	気分障害患者における心電図上の早期再分極所見と自殺行動の関連	亀山 洋
	10015	P- 45	自殺企図した適応障害患者とうつ病患者の心理社会的特徴の比較	佐野 智章
	10035	P- 46	既遂事例から振り返る当院での自殺予防対策の取り組み	荒木 健介
産業メンタルヘルス	10013	P- 47	被災しながら被災地のこころのケアを行う医療従事者との語りの考察	秋岡 悠
	10028	P- 48	うつ病で休業した労働者の復職時の認知機能と復職後の就労継続期間及び仕事のパフォーマンスについて	古澤 隆太郎
	10038	P- 49	医系大学における教職員へのメンタルヘルス・スクリーニングの有効性の検討	津山 雄亮
	10046	P- 50	職場のストレスと睡眠負債が抑うつ症状に及ぼす影響	大道 智恵
	10056	P- 51	「復職支援におけるオープンダイアローグの実践ーリフレクティングを通じた対話の広がりーと早期ダイアローグの活用ー」	近藤 智
	10063	P- 52	うつ病患者の家族が直面する課題と支援の可能性ー家族調査と対話的アプローチの実践からー	近藤 智
デイケア/リワーク	10029	P- 53	リワークにおける発達障害特性がある者のためのプログラム実践～心理教育と困りごとの検討、時間管理のグループについて～	綾 千晶
	10030	P- 54	復職支援プログラムの導入のための環境要因の検討	江口 美紀
集団精神療法	10021	P- 55	インターネットを活用した双極症の遠隔集団心理教育の有効性	木野内 南
	10048	P- 56	双極症集団心理教育が自己効力感に及ぼす長期的影響に関する検討	中津 啓吾
	10020	P- 57	うつ病入院患者に対するモジュール型集団心理教育プログラムの再入院予防効果～Target Trial Emulationを用いて～	浅岡 聡
	10025	P- 58	双極症の短期集団認知行動療法プログラムの効果検討-4クール終了時点-	岡田 佳詠
当事者会	10067	P- 59	双極症当事者にとっての症状の指標や症状安定に役立つ因子	毛塚 大
	10006	P- 60	双極性障害の当事者研究の試みー第2報ー	有野 雄大
	10066	P- 61	双極症当事者にとって電話相談はどのように役に立つかー双極症当事者アンケート調査結果報告-	磯谷 悠子